

科目名		施工方法			
担当教員		町田、清野		実務授業の有無	有
対象学科	電気電子工学科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	各種電気工事の施工方法を学習する。				
学習目標 (到達目標)	電気工事士試験の施工方法分野の理解。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	2021年版 第二種電気工事士筆記試験模範解答集 電気書院出版 他				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	施設場所と工事方法		施設場所及び各種工事の種類を学習。		
2	ケーブル配線工事		ケーブルの種類、支持、施工方法を学習。		
3	金属管工事		金属管の種類と選定、施工方法について学習。		
4	合成樹脂管工事		合成樹脂管及び合成樹脂可とう管の施工方法を学習。		
5	フロアダクト工事		フロアダクトとボックス付属品、施工方法を学習。		
6	金属ダクト工事		施設場所の制限、使用電線の学習。		
7	ライディングダクト工事		施工方法、接地の学習。		
8	引込口諸工事		引込口の工事施工法の学習。		
9	電動機配線工事		電動機配線の施工方法を学習。		
10	電気工事士試験問題演習		電気工事士筆記試験問題演習。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	評価試験			
5 %	5 %	90 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			たくさんある電気工事の種類を学習しましょう。		
実務経験教員の経歴	電気技術者として4年の実務。第1種電気工事士				